



国民春闘共闘

2024 年度 第 7 号
2023 年 12 月 18 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

23 年・第 3 回年末一時金集計・最終

単純平均 2.04 カ月 595,147 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は 12 月 14 日、2023 年度最終となり第 3 回目の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2023 年	2022 年同期(最終)
回答引き出し組合	1,225	1,114
うち 妥結組合	630(51.4%)	582(52.2%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2023 年回答	2022 年同期	同期比
単純平均	月数	2.04	2.01	0.03
	額(円)	595,147	581,776	13,371
加重平均	額(円)	656,163	696,074	-39,911
	組合員数	183,796	210,713	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	23 年回答	22 年実績	実績比
単純平均	月数	1011	769(76.1%)	325(32.1%)	2.05	2.04	0.01
	金額	511	364(71.2%)	317(62.0%)	606,489	590,246	16,243

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.904	1.271	0.768	1.089
	前年実績	0.830	1.256	0.623	1.063
	額(円)	64,781	201,322	104,647	125,203
	前年実績	57,449	212,661	96,648	213,075

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

12月14日に実施した2023年の年末一時金最終集計となる第3回集計には、別表の31単産・部会から回答報告が寄せられました。回答引出し組合は2170組合のうち1225組合・56.5%で、前回調査（第2回集計：11月16日）の612組合・32.0%から大きく増え、前年同期（2022年12月8日最終集計）の1114組合・52.5%を4.1%上回りました。

日本医労連の組合での6次回答をはじめ、回答引出し組合うち19.5%にあたる239組合が数次の上積み回答を引き出しています。前年同期の186組合・16.7%から53組合・2.8%増加しています。

回答引出し組合の51.4%となる630組合が妥結・妥結方向となっており、前年同期（582組合・52.2%）とほぼ同水準となっています。

回答内容

回答月数が判明している1088組合での単純平均（一組合あたりの平均）は2.04ヵ月で、前年同期（2022年12月8日最終集計）の2.01ヵ月を0.03ヵ月上回りました。

金額回答のあった596組合での単純平均額は595,147円で、加重平均額（組合員一人あたりの平均）は656,163円となりました。前年同期比では単純平均プラス13,371円、加重平均マイナス39,911円となっています。

出版労連の組合での9.2ヵ月、民放労連での8.7ヵ月をはじめ、出版労連8組合、民放労連3組合、化学一般労連2組合、建設関連労連、建交労・製造、JMITU：各1組合の計16組合・1.5%が4ヵ月以上、76組合・7.0%が3ヵ月以上4ヵ月未満、511組合・47.0%が2ヵ月以上3ヵ月未満の回答を引き出しています（前年同期：月数回答引出し945組合、4ヵ月以上15組合・1.6%、3ヵ月以上4ヵ月未満65組合・6.8%、2ヵ月以上3ヵ月未満434組合・45.9%）。

また、100万円以上の回答を引き出したのは、金額回答596組合のうち、出版労連13組合、JMITU11組合、民放労連8組合、化学一般労連6組合、日本医労連・医療3組合、全印総連2組合、建設関連労連、全労連・全国一般の製造、全倉運：各1組合の計46組合・7.7%となっています（前年同期：金額回答引出し582組合、100万円以上45組合・7.7%）。

単純平均で前年実績比較可能な組合を見ると、月数では1011組合の単純平均で今期は2.05ヵ月と前年実績2.04ヵ月を0.01ヵ月上回りました。このうち325組合・32.1%が前年実績を上回り、444組合・43.9%が前年同月数を確保しています。金額では511組合の単純平均で606,489円と前年実績590,246円を16,243円上回りました。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の11単産254組合から410件の獲得報告が寄せられています（前年10単産224組合435件）。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は、日本医労連104件、生協労連68件、全労連・全国一般21件、全印総連8件、JMITU5件、建交労4件、出版労連3件、全農協労連、民放労連：各2件の計217件となっています。月数報告のあった155件での単純平均は0.904ヵ月で、前年同期（22年12月8日最終：150件）の0.83ヵ月を0.074ヵ月上回っています。また、

金額報告のあった 68 件の単純平均は 64,781 円で、前年同期 57,449 円（93 件）を 7,332 円上回っています。

月給制非正規雇用の仲間の一時金は 138 件の獲得となり、月数では単純平均 1.271 ヲ月（98 件）と前年同期比（1.256 ヲ月・106 件）で 0.015 ヲ月増、金額は 201,322 円（43 件）で前年同期比（212,661 円・48 件）11,339 円減となっています。

継続雇用者では、時給制労働者は生協労連 13 件、全労連・全国一般 2 件、全印総連 1 件の計 16 件の獲得報告があり、単純平均 0.768 ヲ月（10 件）、104,647 円（6 件）となっています。

月給制の継続雇用者は 39 件の回答を引き出し、単純平均 1.089 ヲ月（24 件）、125,203 円（18 件）となっています。